

タイトル ※JST特許出願支援制度に採択		
フロートとそれを使用した液体容器、自動分析装置におけるプローブの誤作動防止方法及び自動分析装置を用いた検査方法		
技術分野	利用分野・適用可能分野	情報メモ
<input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input checked="" type="checkbox"/> 医療機械・装置 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> その他()	医療または化学検査試薬、医療または化学機器による液体試料採取、試薬酸化防止、センサー誤感知防止	別紙資料: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学: <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 その他:
提供特許情報(出願番号等 / 出願日 / 出願人)		関連特許番号
出願番号: 特願2005-092528 出願日: 2005年3月28日 PCT国際出願番号: PCT/JP2006/30609 出願日: 2006年3月27日 出願人: 学校法人 久留米大学		
目的・効果・特徴		
<p>【目的】自動分析装置に使用する液体容器において、液体容器の液体分取口に液体が接触することによって薄膜が形成されてしまうことを防止できるようにしたフロートとそれを備えた液体容器を提供することにある。</p> <p>【効果】薄膜形成それによるプローブの誤作動は皆無であり、同時に波うち防止に顕著な効果が認められた。また、フロートのへばり付きも認めなかった。</p> <p>【特徴】酸化抑制機能、試薬の波打ち防止を持つ中蓋であり、その中で取り分け浮力体の調整により、溶液の比重に応じた浮力調整機能によりフロートの液面からの位置が可変できる点にある。</p>		
技術概要		
<p>【課題】自動分析装置に使用する液体容器において、液体容器の液体分取口に液体が接触することによって薄膜が形成されてしまうことを防止できるようにしたフロートとそれを備えた液体容器等を提供する。</p> <p>【解決手段】当該フロートは、例えば自動分析装置用の試薬容器に入れられた試薬の液面に浮かべられる。なお、このフロートは、フロート本体と、所要数の浮力調整体を備えている。フロート本体は、本質的に液面全体を覆う液面覆い体と、液面覆い体から液面下に突き出すように位置し、液面覆い体の周方向に連続的に設けてある側壁部を備えている。側壁部は、試薬の揺動時に試薬容器の内壁へ当接または引っ掛かることによって液面覆い体の揺動を抑制するための揺動抑制要素を構成する。液面覆い体は、試薬を分取するための開口部を備えている。</p>		
図・特記事項・その他		
		